

2022年3月22日学長会議で下記の2021年11月1日以降の方針維持を決定しました

2021.10.25

教職員各位

感染者数減少に対応した研究室利用方針の変更について

野中謙一郎

本学では COVID-19 感染防止について常に能動的な対応を行ってきました。感染拡大状況に応じた入構制限の強化・緩和の調整、検温・IC カード確認、ワクチン接種者数の調査、職域接種の実施、接種会場の情報提供、PCR 検査・抗原検査実施、研究室使用願いによる登校学生の把握、研究室利用ガイドライン遵守など、他大学と比較しても、学生の安全に配慮した措置を取れています。

現在、学生が研究室を利用する際は、利用時間は 8:00～20:00 に一律に限定した上で、研究室の利用者数を平時の 50%以内に制限しています。この制限のために入室出来ない学生には自宅での作業を求めています。しかし、最近の感染状況では、感染者数は指数関数的に減少し、現時点でも単調減少しています。一方で今後第 6 波が来る可能性を考慮すると、必要な感染防止策は継続する必要があります。

そこで 11 月 1 日以降は、下表の様に、利用時間は 8:00～20:00 に留め、PCR 検査体制は維持したまま、利用者数の一律 50%以内の制限を三密回避に緩和して、研究室での対応により全員の登校を可能にし、対面での活動を前提とできる様に変更することを 10 月 25 日開催の学長会議で決定しました。総務課から配布する研究室利用申請の新しい書式と研究室利用ガイドラインに基づいて、研究室・実験室を利用していただくようお願いいたします。

変更内容一覧

	変更前(～10.31)	変更後(11.1～)	備考
利用時間	8:00～20:00	8:00～20:00	変更なし 20:00 以降は不可
研究室利用願い	必須	必須 (書式変更)	変更なし 検査状況把握に必要
PCR 検査	ワクチン未完了者	ワクチン未完了者	変更なし 検査数増も対応可
利用者数制限	三密回避、かつ 平時の 50%以内	三密回避	研究室での対応で全 員が登校可
研究活動の内容	必要性の高いものに 限定	限定しない	対面での活動を前提 とできる
発表会等	オンラインのみ	必要に応じ対面可 オンライン活用は推奨	

なお、感染者数の急増など状況が変化した場合は、迅速に制限を強めることとします。

以上

新型コロナウイルス感染防止のための研究室（実験室）利用ガイドライン(2021.10.25 版) Laboratory usage guidelines for preventing new coronavirus infection

副学長(研究担当) 野中 謙一郎
Vice-president (in charge of research) Kenichiro Nonaka

下記は、新型コロナウイルスの感染防止に務めながら、研究室や実験室を可能な限り安全に利用するための、注意事項をまとめたものです。感染防止のために遵守してください。ソーシャルディスタンス等一般的な感染症予防策を取っていることを前提としています。

The following is a summary of precautions for using laboratories and laboratories as safely as possible while preventing infection with the COVID-19. Please observe to prevent infection. It is assumed that general infectious disease prevention measures such as social distancing are taken.

要点 Summary

- ✓ 毎日の検温・マスク着用・手洗い等基本的感染予防策の徹底
Basic infection prevention such as daily temperature measurement, wearing a mask, and washing hands.
- ✓ 発熱・体調不良などの場合は登校しない
Do not go to school if you have a fever or feel unwell.
- ✓ 研究室内で密を避け、小まめに換気・消毒。オンライン発表を活用
Avoid denseness in the lab and diligently ventilate and disinfect. Utilize online presentation.
- ✓ 対面での飲食は厳禁
Face-to-face eating and drinking is strictly prohibited.
- ✓ 実験室などの共用部分は小まめに消毒
Diligently disinfect common areas of laboratories

研究室(実験室)利用時の教員・学生の留意事項 Precautions for faculty/students when using the laboratory

1 健康管理 Health care

- 教員・学生間で速やかに連絡が取れるような通信手段（携帯電話や SNS 等）を確保する。
Prepare communication means (mobile phones, SNS, etc.) that allow faculty members and students to quickly contact each other.
- 毎日検温するなど健康をチェックし、都市大アプリに登録する。厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) も利用する。一週間以内に発熱や体調不良の自覚がある場合は登校しない。
Perform health checks such as measuring body temperature every day, and register with the Tokyo City University app. Also, use the new Coronavirus Contact Confirmation App (COCOA) of the Ministry of Health, Labor, and Welfare. Do not go to school if you are aware of fever or poor physical condition within a week.
- 新型コロナウイルスの罹患が判明した場合には、学生は学生支援センターと指導教員に連絡する。指導教員は学生支援センターと連携して、学内や研究室における濃厚接触者を把握する。
Students should contact the Student Support Center and their academic advisor if they are found to be affected by the new coronavirus. The academic advisor cooperates with the Student Support Center and identify the close contacts on campus and in the laboratory.

2 研究室・実験室の利用 Use of laboratories

- マスク、消毒用アルコールを完備し、マスク着用・手洗い・消毒を励行する。
Equipped with a mask and rubbing alcohol, wear a mask, wash your hands, and disinfect.
- 各人が「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」回避に努める。
Each person strives to avoid three Cs (closed space, dense place, close scene)
- 3密回避のため、必要に応じビニールカーテンにより、学生の席や実験装置ごとに仕切りをする。
To avoid the 3Cs, vinyl curtains will be used to partition each seat and experimental equipment.
- 研究室・実験室を定期的に換気する。（1～2時間毎に5～10分以上）。可能なら常時開放する。
Ventilate the laboratory regularly. (5-10 minutes or more every 1-2 hours). Always open if possible.
- ドアノブやテーブル、PCのキーボードやマウスなどの共用部分は定期的に消毒する。
Regularly disinfect common areas such as doorknobs, tables, PC keyboards, and mice.
- 学生の座席や共有スペースの座席が密にならないように、間隔を十分に確保する。
Make sure there is enough space between the student seats and the seats in the common space.
- 対面で飲食をしない。
Do not eat or drink face-to-face.
- 可能な範囲で装置のリモート運転化を進める。
Promote remote operation of equipment to the extent possible.
- 実験室内にて作業着、スリッパ等を利用する研究室では、極力個人専用のものを用意し、それらではできるだけ清潔を保ち、定期的にクリーニングをする。
In the laboratory where work clothes, slippers, etc., are used, prepare personal items as much as possible, keep them as clean as possible, and clean them regularly.
- 実験室内で、器具洗浄、試薬棚、乾燥機などの共通設備の動線に配慮する。
Consider the flow lines of common equipment such as equipment cleaning, reagent shelves, and dryers.
- 実験装置等は、誰がいつ利用したかを必ず記録に残す（利用ログノート）。
Be sure to record who used the experimental equipment and when (use log note).

3 研究指導やゼミ、発表会など Research guidance, seminars, presentations, etc.

- 研究室・実験室などで滞在する部屋を分散する・時間帯で分けるなどして、密にならない様に工夫をする。
Divide the rooms where the students stay and divide them by time zone so that they will not be crowded.
- 研究室への学生の入退室は指導教員が管理し、入構時には、必ずICカードによる登録を行う。
The instructor manages the entry and exit of students into the laboratory, and when entering the laboratory, be sure to register with an IC card.
- 一室に集合してゼミ等を行わず、特に必要でない限り、オンラインでのミーティングとする。
Do not gather in one room for seminars, etc., and hold online meetings unless otherwise required.
- 研究発表会やディスカッションはオンラインを積極的に活用する。
Utilize online for research presentations and discussions.
- 研究計画は、学生の事情や感染症の流行状況に応じて柔軟に調整し、学生のメンタルケアを心掛ける。
The research plan should be flexibly adjusted according to the circumstances of each student and the epidemic situation of the infectious disease, and the mental care of the student should be kept in mind.

変更履歴

2020年5月23日 初版（総合研究所）

2020年11月23日 改訂

2021年01月09日 改訂. 要点を追加.

2021年01月10日 短縮. 日英対応.

2021年10月25日 改訂